

第 1 回
まちづくりアワード
(実績部門、構想・計画部門)
審査結果

令和 4 年 5 月
国土交通省都市局まちづくり推進課

総 評

これまで経験したことない人口減少や高齢化を迎えるなか、持続的な都市・地域経営を実現していくため、まちづくりに携わる関係者が、各々の繋がりや創意工夫のもとに、人、モノ、歴史、自然、などのあらゆる資源を生かし、地域が抱える種々の課題解決、良好な環境の創造、価値の維持・向上を図る取り組みを続けていくことが期待されています。

第1回目となる「まちづくりアワード」においては、全国から先導性や独自性に優れた取組の応募がありました。

厳正な審査の結果、2件の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、今後の更なる発展を期待する取組について、審査委員会から10件の「特別賞」を選定することといたしました。今回受賞された取組は総合的に優れており、全国のモデルとなるような取組として審査委員会の高い評価を得たものです。

今回惜しくも受賞に至らなかった取組を含め、次回もより多くの優れた取組が応募されることを期待しております。

《まちづくりアワード（実績部門、構想・計画部門）等審査委員会》

委員長 奥野 信宏
(公益財団法人名古屋まちづくり公社
名古屋都市センター所長)

委員 西村 浩
(株)ワークヴィジョンズ代表取締役)

委員 石井 朋紀
(コンパクトなまちづくり推進協議会幹事長)

委員 村上 暁信
(筑波大学システム情報系教授)

委員 入江 貴裕
(株)日本政策投資銀行地域調査部次長)

委員 村木 美貴
(千葉大学大学院工学研究院教授)

委員 島原 万丈
(LIFULL HOME 'S総研所長)

委員 村山 顕人
(東京大学大学院工学系研究科准教授)

(敬称略、五十音順)

令和4年度 まちづくりアワード (実績部門)

受賞団体

第1回 まちづくりアワード(実績部門)

国土交通大臣賞 飛騨市

- ◆所在地:岐阜県飛騨市
- ◆取組名称:人口減少先進地の挑戦! 地域を越えて支え合う「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ!」
- ◆活動概要:飛騨市民の「困りごと」と参加者の「お助け」が循環することで、地域内外の人の交流と支えあいを創出するプロジェクト。課題解決を依頼する地域住民と全国の飛騨市ファンのボランティアの参加を「ヒダスケ!」によりウェブ上でマッチングし、地元野菜や電子地域通貨を活用した参加者への返礼、クラウドファンディングの実施など、新たな技術・手法を活用して地域内外の交流を増やすことで、人手不足解消や地域の魅力向上に貢献しています。
- ◆選定理由:人口減少を不可避と受け止め、地域の困りごとを交流資源にする発想の転換により、関係人口に着目したマッチングによる地域づくりは、地域内外で多くの交流を実現し、農作物の出荷量の増加、人手不足解消、地域の魅力の再確認等に大きく貢献しており、先導性、先進性・独自性、多様性、効果に優れた取組であると評価されました。



▲ 地域を越えて支えあう「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ!」



▲ みょうが畑復活を目指したプロジェクトの風景

第1回 まちづくりアワード(実績部門)

特別賞 大阪市高速電気軌道株式会社

- ◆所在地:大阪府大阪市
- ◆取組名称:Osaka Metro エリアリノベーションプロジェクト
- ◆活動概要:交通を核に生活に密着したまちづくり企業を目指して、御堂筋線「西田辺駅」「長居駅」「あびこ駅」を中心としたエリアで、エリアの活性化戦略の策定、ローカルメディアによるまちの魅力情報の発信、遊休不動産のリノベーションプロジェクトにより、沿線地域の活性化に貢献しています。
- ◆選定理由:2019年度から3年間を集中支援期間としてキーパーソンの選定、活動基盤の整備、独立運営できる組織の概形づくりを行い、継続活動が可能な財務状況、運営体制の確立へのサポートを行うなど、先導性、継続性が高く評価されました。



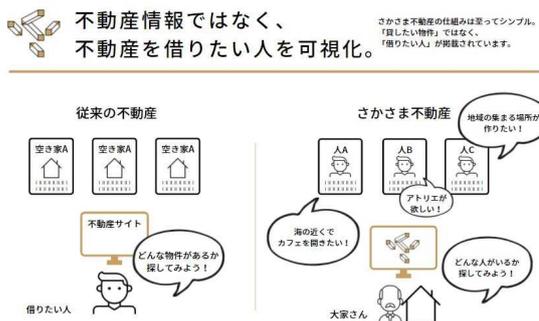
▲ キーパーソンチームによる取材風景



▲ 学生による空き家活用提案発表会の様子

特別賞 株式会社On-Co

- ◆所在地:三重県桑名市
- ◆取組名称:逆転の発想 潜在する空き家を借り手が発掘「さかさま不動産」
- ◆活動概要:不動産の情報を掲載する従来のシステムとは逆に、物件を借りたい人の情報を掲載しているマッチングサービス「さかさま不動産」を展開。借り手の人物像が分かる記事形式の紹介により、流通していない空き家の発掘や、空き家を介した関係の構築により、地域の担い手不足の解消や移住定住の促進に貢献しています。
- ◆選定理由:従来の不動産情報を掲載するのではなく、物件を借りたい人の情報を掲載して貸したい人を募集し、空き家の活用を進める取組は、潜在する空き家の流通に繋がる画期的な発想であり、先進性、独自性が高く評価されました。



▲ 「さかさま不動産」を活用し本屋を開業

第1回 まちづくりアワード(実績部門)

特別賞

さとづくり48プロジェクト(西部ガス株式会社・東邦レオ株式会社)

- ◆所在地:福岡県宗像市
- ◆取組名称:「さとづくり48(フォーティーエイト)」～宗像市日の里団地における団地再生プロジェクト～
- ◆活動概要:築約50年が経過した団地群について、既存棟の活用と新築の戸建販売というハイブリッド型の団地再生事業を行い、既存の48号棟を改修した生活利便施設「ひのさと48」を拠点に、地域コミュニティの形成に貢献しています。
- ◆選定理由:既存棟を改修した生活利便施設「ひのさと48」を設置し、地域に開かれたコミュニティスペースを展開。当施設の空き室には認可保育園や福祉療育施設、ウクレレ工房等、多種多様な施設が入居しており、団地住民、学生、地元企業や域外企業、大学、移住者等がつながる取組は、団地再生の好例として先導性、多様性が高く評価されました。



▲ 地域住民で開催するガレージセール



▲ 団地外観

特別賞

株式会社ジェイアール東日本都市開発

- ◆所在地:東京都渋谷区
- ◆取組名称:阿佐ヶ谷・高円寺プロジェクト(通称:AKP)
- ◆活動概要:「歩きたくなる高架下」を目指し、中央線の阿佐ヶ谷・高円寺エリアにおいて「阿佐ヶ谷・高円寺プロジェクト」(AKP)という活動を続け、高架下の空き倉庫を活用するなど、地域住民の”やってみたい”を実現させる各種イベントを実施し、地域コミュニティの形成に貢献しています。
- ◆選定理由:社員によるプロジェクトチームにより、継続的な運営体制を構築するとともに、子ども向け・子育て世代向けのイベントや文化系イベントを多く開催するなど、公共的な屋外空間の利活用事例として、公益性、継続性が高く評価されました。



▲高架下空き倉庫利活用(高円寺殺陣ふれあい祭)



▲高架下空き倉庫利活用(ペーパークラフト作品展示)

第1回 まちづくりアワード(実績部門)

特別賞 上越市

- ◆所在地:新潟県上越市
- ◆取組名称:城下町高田の歴史・文化をいかしたコンパクトシティの推進
- ◆活動概要:まちの魅力向上を目的に、城下町のまちなみが残る中心市街地「高田地区」でまちなか再生に取組み、大正時代の町家を大学との合同フィールドワークや改修ワークショップを通じて学生向けシェアハウスヘリネーション。民間事業者による市所有指定文化財の活用など、歴史文化を活用したまちづくりに貢献しています。
- ◆選定理由:市所有指定文化財を改修し観光拠点を創出するとともに、市有財産の貸付等により得られた収益を維持管理費に還元する自立性の高い運営スキームを構築したほか、地元の若手人材「Kinaiyaプロジェクト」による情報発信など、官民による総力をあげた空き家・空き店舗活用の取組は、先進性、効果が高く評価されました。



▲官民によるワークショップ



▲若手まちづくりチーム「Kinaiyaプロジェクト」

特別賞 前橋市

- ◆所在地:群馬県前橋市
- ◆取組名称:マチスタント～前橋市アーバンデザインにより広がるまちのリノベーション～
- ◆活動概要:アーバンデザインの実現に向け、リノベーションまちづくりによる遊休不動産を活用した出店支援、市職員による積極的なまちなか遊休不動産の空き家調査・ヒアリングなど、出店に関する意見交換や活用可能な空き家の個別マッチングをしながら、空き家開放やリノベマッチングファンデーションやSTREET FURNITURE EXHIBITION等により、遊休不動産の利活用に貢献しています。
- ◆選定理由:市職員がまちなか遊休不動産の掘り起こしや出店希望者へのヒアリングを行う等、行政主導で始まった取組が、若手クリエイターとの連携をとりながらのマッチング、地元大学の学生、銀行、商工会議所、民間事業者等地域の様々な団体や個人と協働した取組につながっており、多様性、継続性が高く評価されました。



▲出店検討者とのヒアリング風景



▲学生による不動産オーナーへの空き家利活用提案

第1回 まちづくりアワード(実績部門)

特別賞 株式会社リゾン

- ◆所在地:埼玉県朝霞市
- ◆取組名称:コミュニティデザインで創るふるさとまちづくり
(株式会社リゾン・株式会社平成まちづくり研究所 2社合同の取組)
- ◆活動概要:区画整理後の宅地分譲前から「ふるさとまちづくり」の意識醸成を図り、分譲後も地域住民とともに自立性の高いイベントの運営やマルシェを展開するなど、地域に根ざした様々な活動を展開し、地域コミュニティの形成に貢献しています。
- ◆選定理由:コミュニティデザインを区画整理事業に先立たせ、長く時間をかけて地道で丁寧なプロセスでプロジェクトを導くなど、これまでの不動産業の枠にとらわれず、運営までを見越した開発として、独自性が高く評価されました。



▲各種コミュニティイベント(マルシェ、柿酢イベント)



▲防災訓練

**令和4年度
まちづくりアワード
(構想・計画部門)**

受賞団体

第1回 まちづくりアワード(構想・計画部門)

国土交通大臣賞 姫路市

- ◆所在地:兵庫県姫路市
- ◆取組名称:姫路市ウォーカブル推進計画
- ◆活動概要:身近な生活圏が豊かになることで住みたい街・住み続けたい街になることを目指し、市民・来街者が多様な過ごし方を選択できるよう、「姫路市ウォーカブル推進計画」を策定。日常的な公共空間の利活用が実施可能となる組織体制の構築や、リノベーションまちづくりの推進などにより、居心地が良く歩きたくなるまちなか空間の創出を目指しています。
- ◆選定理由:居心地が良く歩きたくなるまちなか空間の創出を目指し、丁寧なエリアのリサーチや社会実験を実施し、道路管理者や交通管理者との連携を図りながら、戦略的な計画づくりを進めるなど、先導性、論理性、総合性、実現性に優れた取組であると評価されました。

3つの区域と、3つの時間軸で段階的にウォーカブルまちづくりを展開



▲計画区域及び展開イメージ

6~10年 長期 推進区域(広域)

長期的には、中心部にウォーカブルなエリアが増加し、様々な目的地が生まれ、多様な人が集まり、エリア間を歩いて楽しめる街となることを目指します。

- ・推進区域全体で実現
- ・中心部全体で歩行が増加
- ・ウェルネスな都市環境の実現

10ヶ所に
拡がる

3~5年 中期 重点区域(中域)

中期的には、短期の取組み成果をもとに、中心部の重点区域においてウォーカブルな環境づくりを進め、行きたくなる魅力的な目的地が増えネットワークが広がることを目指します。

- ・プログラムを重点地区で展開
- ・検証区域以外でも実現
- ・面的な界限性が生まれる

3ヶ所
+αに拡大
(重点区域に
拡がる)

1~2年 短期 検証区域(狭域)

短期的には、検証区域として複数場所で象徴的なプロジェクトの目指すシーンを実験し、ウォーカブルな取組みの機運を醸成していき、展開するための仕組みを構築します。

- ・複数の検証区域で社会実験
- ・成果を踏まえプログラムを構築
- ・目指すシーンが可視化される

3ヶ所から
スタート



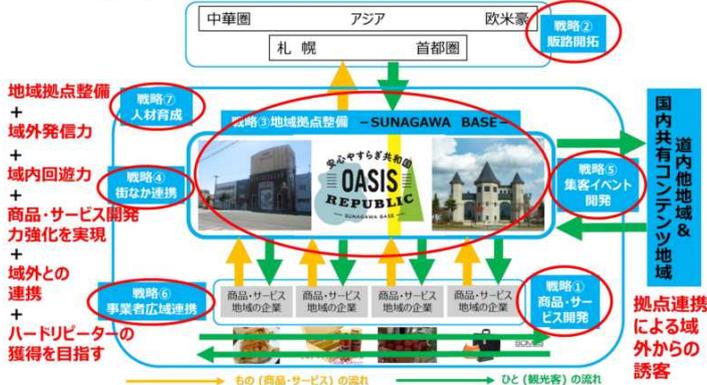
▲将来目指すまちのイメージ

第1回 まちづくりアワード(構想・計画部門)

特別賞 砂川市

- ◆所在地:北海道砂川市
- ◆取組名称:安心やすらぎ共和国「OASIS REPUBLIC -SUNAGAWA BASE-」建国構想
- ◆活動概要:地域資源の活用や、多様な業種の連携による地域のブランド力の強化を図り、域内外への発信や域外からの流入促進につなげるオアリバ(オアシスリパブリック)の構想により、持続的なまちづくりを進めています。
- ◆選定理由:1万6千人規模の都市でありながら、地域特有の資源を最大限に活かし、稼ぐ力を発揮する体制を官民一体となり構築するなど、先導性が高く評価されました。

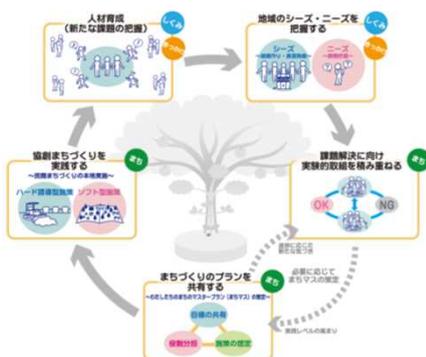
オアリバ = 異業種が一塊になって稼ぐちからで地方創生をするプロジェクト



▲ ブランド市場化/販路開拓 (ミニマルシェ)

特別賞 つかう. meet

- ◆所在地:愛知県安城市
- ◆取組名称:MAPP(まちをつかっつけてつくる! 三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト)
※三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画
- ◆活動概要:三河安城駅周辺において、「まちをつかっつけてつくる」という順序により既存のまちのポテンシャルを最大限に引き出すことに加え、オープンデータを活用した地域課題の分析など、地域のエリア価値向上の取組を推進しています。
- ◆選定理由:オープンデータなどを活用した課題分析やニーズ把握を踏まえ、実験的な取組を先立って展開することにより、柔軟性や機動性の高い計画づくりを進めるなど、事業化への実現性が高く評価されました。

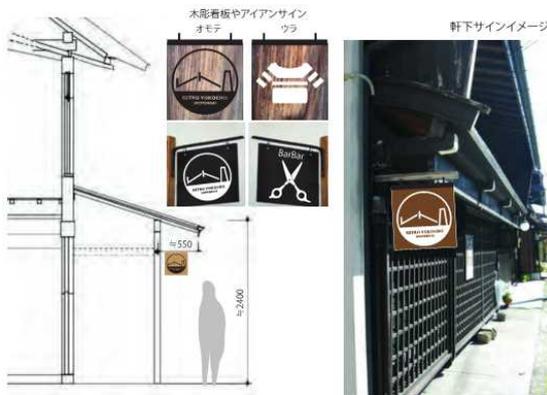


▲つかう. meetの会議風景

第1回 まちづくりアワード(構想・計画部門)

特別賞 仲町商店街振興組合

- ◆所在地: 福島県喜多方市
- ◆取組名称: 喜多方レトロ横町商店街中長期ビジョン
(仲町商店街振興組合/中央通り商店街振興組合/しもなん活性化協同組合 3組合共同策定)
- ◆活動概要: レトロな蔵のまちなみを保全していくため、景観に配慮したデザインコンセプトや施設整備を進めるなど、商店街の連続性や景観の創出に貢献しています。
- ◆選定理由: まちなかで「遊ぶ・泊まる・暮らす・働く」といった、新たな観光・暮らしの提案による蔵・空家・空店舗の活用や、情緒あふれるまちなみ形成などへのビジョンが示されており、独自性が高く評価されました。



▲軒下レトロデザイン



▲レトロ横町: マーケット通り修景イメージ